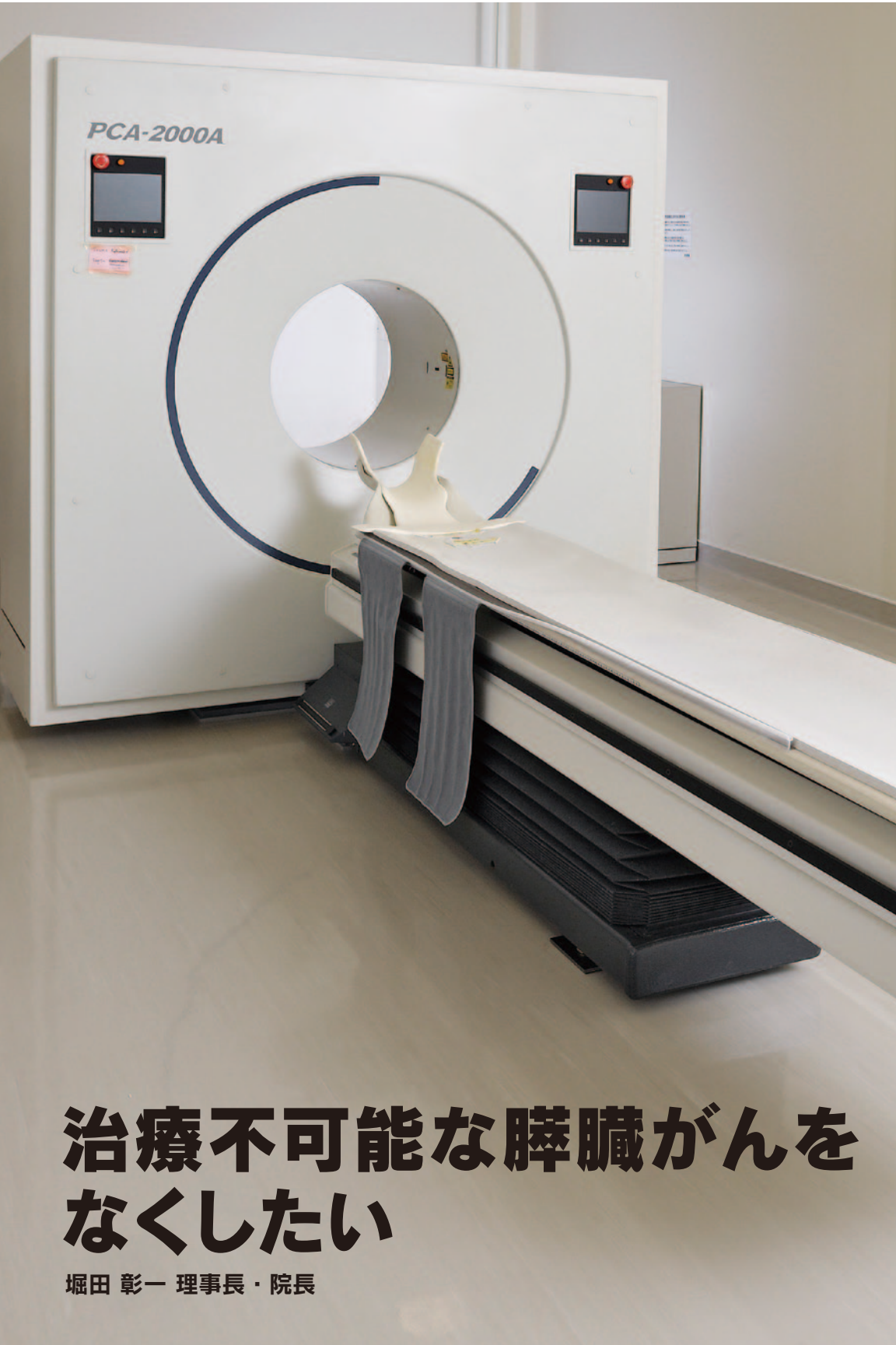


# しょうわ つうしん Show-a 通信

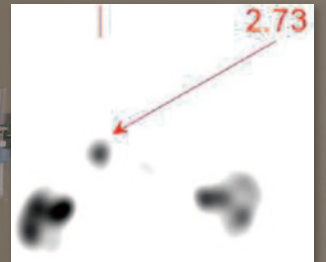
2013.3  
第10号

北海道消化器科病院は消化器病分野の最先端治療で地域医療に貢献しています。

医療法人彰和会の「彰和（Showa）」と明らかにするという意味の「Show」を合わせて、「Show-a通信」としました。  
私たちの仕事をお知らせすることで、消化器科領域の最新医療をお伝えします。



PET装置「PCA-2000A」  
がん細胞に集まる検査薬を検出し画像化します



## 早期がんの発見に 優れているPET検査

PET(ペット)は「ポジトロン・エミッション・トモグラフィー」の略で、日本語では陽電子放出断層撮影といっています。がん細胞は、正常な細胞に比べて通常の3～8倍近くのブドウ糖を取り込んで消費するので、ブドウ糖によく似た検査薬を注射した後にPET装置で撮影すると、がん細胞に集まった検査薬を検出することができるため、小さな早期がん細胞の発見に力を発揮します。体の広範囲を一度に検査できる特性を持っていることから、予期せぬところに生じたがんの転移や再発を早期に発見できる検査法としても期待されています。

# 治療不可能な膵臓がんを なくしたい

堀田 彰一 理事長・院長

## 治療不可能な

## 膵臓がんをなくしたい

私たち専門医が

早期がんの段階で発見します

早期の膵臓がんを発見することは難しく、診断された時点で治療不可能なほど進行しているケースが少なくありません。しかし、近年になって、糖尿病の発症や悪化の背景に膵臓がんが隠れている危険性があることがわかってきました。症状がなくても、膵臓がんの危険因子を持つ方は少なくとも半年に一度は検査・診断を受けましょう。



## 初期症状がほとんどなく進行が早い膵臓がん

膵臓がんの初期症状は、腹痛や黄疸、腰背部痛、食欲不振などで、特異的なものが少ないため、加齢に伴う症状や過労と見逃され、診断時には治療不可能なほど進行していることが少なくありません。膵臓にがんが発症すると外部に露出し、周囲にある重要臓器やリンパ節などに転移し死亡率を高めています。

しかし、近年になり、糖尿病の発症や治療中に悪化した患者さんに早期の膵臓がんが隠れている危険性があることがわかり、転移する前のより小さい段階で早期発見できる可能性が高まっています。

### 膵臓がんが隠れている危険性のある患者さん

#### 膵臓がんの危険因子

家族歴	家族に膵臓がんや遺伝性膵臓がん症候群を発症した人がいる
合併疾患	糖尿病、肥満、慢性膵炎、遺伝性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍がある
嗜好	喫煙の習慣がある

膵臓は特異的な初期症状に乏しく、小さく薄い臓器であることから、がんが発生した場合、隣接臓器に転移しやすく、進行が早い

早期の膵臓がんは、通常の超音波検査(エコー)や腫瘍マーカーでは発見しにくい

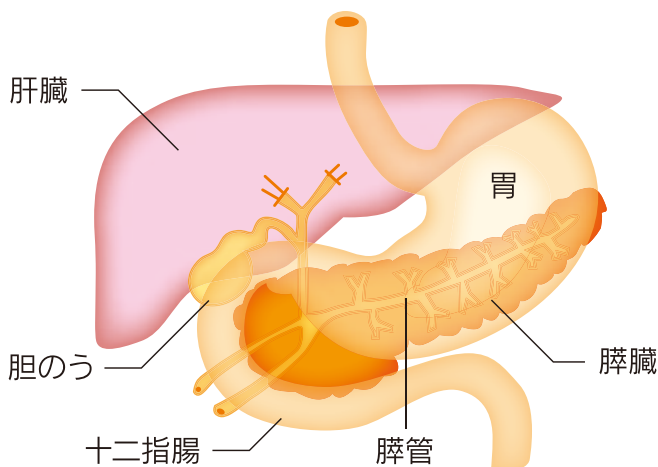
ところが

糖尿病を発病したり、悪化した患者さんの検査画像を丁寧に調べると、早期の膵臓がんが発見されることがある

よって

糖尿病という危険因子をもっている患者さんを検査することで、早期の膵臓がんを発見できる。早期の膵臓がんなら治療が可能

専門医による超音波内視鏡やCTやMRIなどの画像検査を半年に一度受けましょう



#### 【膵臓の働き】

膵臓は上腹部のみぞおちと臍の間あたりから左上方にかけて存在します。細長い臓器で、頭部は幅5cm、厚さ2cmほどで、尾部に向かって細くなり、長さは15cm前後です。食物を消化する酵素(アミラーゼ、リパーゼ、トリプシノーゲンなど)を含んだ膵液を分泌する外分泌機能と、血糖の調節に必要なホルモン(インスリン、グルカゴンなど)を分泌する内分泌機能をあわせもつ重要な臓器です。



# 早期発見をサポートする超音波内視鏡検査とPET検査

膵臓がんの検査には、腹部工  
コー検査や腫瘍マーカー検査、  
膵酵素検査などがありますが、  
早期の段階で発見するのは難し  
く、健診や他の手術で偶然に発  
見される場合がほとんどです。

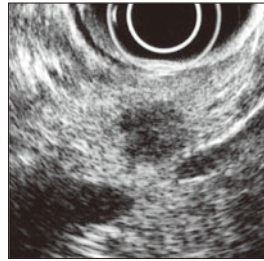
当院では専門医が「治療不可  
能な膵臓がんをなくしたい」と、  
高度な画像診断技術を用いた超  
音波内視鏡検査やPET検査、  
高速CT検査などで早期の膵臓  
がんの発見に積極的に取り組ん  
でいます。

複数の画像検査を組み合わせ  
ながら、通常の検査では確認で  
きない膵管の拡張や小嚢胞など  
の間接的な所見を慎重に調べ、  
早期発見へとつなげています。  
糖尿病や慢性膵炎など膵臓が  
んの危険因子をもつ患者さん  
は、自覚症状がなくても半年に  
一度は専門医を受診し検査を受  
けましょう。

## 超音波内視鏡検査

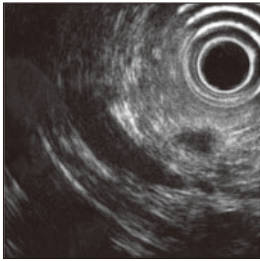
超音波装置をともなつた内視  
鏡を口から挿入し、消化管の  
なかから超音波検査を行いま  
す。直接内視鏡で観察するこ  
とが困難な膵臓は、超音波画  
像に併せて端子を操作し必要  
な画像を得ます。検査時間は  
20〜25分ほどで、鎮静剤を用  
いて行います。

### 健診で発見された 膵臓がん画像



1.5 × 1.0cm Stage III EUS  
(健診)

### 糖尿病の経過観察で 発見された膵臓がん画像

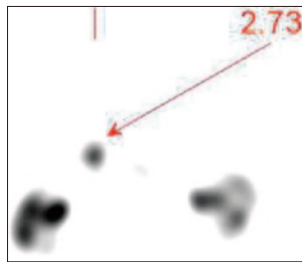


1.5 × 1.2cm Stage III EUS  
(糖尿病経過観察)

## PET検査

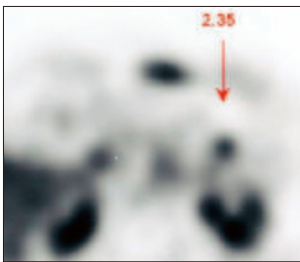
放射線を出す検査薬を患者さ  
んに注射すると、がん細胞か  
ら放射線が多く放出されるた  
め、特殊なカメラで検出され  
画像化します。患者さんは40分  
ほど横になっていただけで検  
査は完了します。

### 健診で発見された 膵臓がん画像



1.5 × 1.4cm Stage III  
(健診CT)

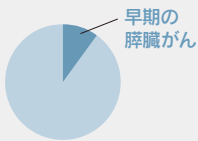
### 糖尿病の経過観察で 発見された膵臓がん画像



1.7 × 1.7cm Stage III  
(糖尿病経過観察)

### 全国平均

膵癌登録報告2007による  
早期発見率は約10%



### 当院の膵臓がん治療実績

9年間の実績 (2004 ~ 2012年)

膵臓がんの 手術件数	160件 (年間約17件)
そのうち 早期の膵臓がん	33件 (年間約4件)

全国平均より高い

当院の膵臓がん  
早期発見率

北海道消化器科 理事長・院長  
消化器内科 堀田 彰一



北海道大学医学部卒業  
北海道大学病院、  
KKR 札幌医療センター斗南病院、  
JR北海道厚生連札幌厚生病院を経て  
1983年北海道消化器科病院を開院

**【学会認定資格】**  
超音波学会指導医  
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医  
日本消化器病学会認定医・指導医・評議員  
日本臨床腫瘍学会暫定指導医  
日本大腸肛門病学会指導医ほか

膵臓がんは、糖尿病発症や悪化の背  
景に隠れている危険性がありますが、  
腹部超音波検査や腫瘍マーカーでは発  
見できないことがあります。糖尿病の  
治療を継続するだけでなく、一度、専  
門医による膵臓がんの検査を受けられ  
ることをおすすめいたします。  
当院では、膵臓がんを専門とする医  
師がいつでも相談に応じています。



糖尿病の患者さんへ  
医療機関の皆様へ

医療技術を向上させるため職員全員がつねに学び続けています

11/26 消化器病臨床病理懇話会・特別講演会

◆特別講演

「胃癌の病理学的多様性と臨床的意義」

演者：国立がん研究センター中央病院  
病理科 医長 九嶋亮治先生



1/24 院内感染対策勉強会

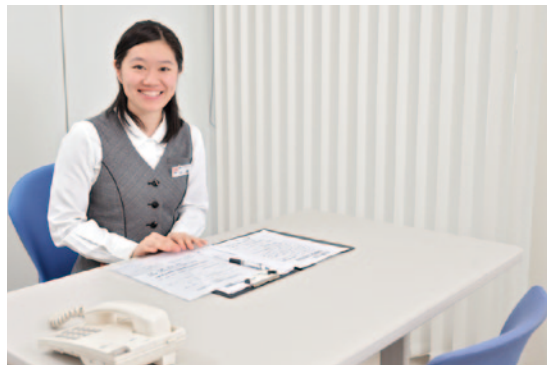
◆テーマ

「すぐに役立つ感染対策  
～感染性胃腸炎・ノロウイルス・  
O-157について～」

講師：MeijiSeika ファルマ（株）  
薬品札幌第一営業所 片桐由貴先生



部門紹介



医療ソーシャルワーカー（MSW）  
小倉睦美

医療相談室

安心して医療を受けていただくために  
ささいな心配ごとの解決もサポートいたします

医療相談室では患者さんやご家族を対象に、入院や通院治療にともなう経済的・心理的な不安や心配ごとなど、さまざまな相談に応じています。

相談業務を担当している小倉睦美医療ソーシャルワーカーは、「病気になる」と、予想していなかった生活上の不安や困難が生じることがあります。患者さんやご家族からじっくりとお話を伺い、解決をフォローするのが私の仕事です。ご利用いただける医療制度や福祉サービスを紹介したり、解決策を一緒に考えます。患者さんやご家族に笑顔になっていただけるよう、相談員としての責任をしっかりと果たしたいと思っています」と話します。

相談内容に応じ、必要であれば院内外のスタッフと連携・協力し、患者さんやご家族の不安の解消や問題の解決をサポートしています。

申し込み

1階受付・会計カウンターにお申し出いただくか、医師・看護師にお申し出ください。面談・電話相談等、随時対応いたします。ご相談内容についての秘密は厳守いたします。

直通電話 011-785-0711

相談時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00

※上記の時間内の来室が難しい方はご相談ください

このような相談を受けています

相談無料

- 医療費、生活費などの経済的問題
- 医療、介護など各種制度の活用方法
- 転院、施設入所、退院等のご相談
- 退院後の療養、介護について

相談例

**A Q** 退院が決まったけれど、一人暮らしなので退院後の生活に自信がありません  
**A** 介護保険の申請やケアマネージャーさんを紹介し、一人暮らしでも安全で安心した生活ができるよう、しっかりとサポートいたします

**A Q** 医療費が高額になり、支払いが困難になるのではないかと心配です  
**A** 高額療養費や各種制度のご案内や、相談者様の状況に応じた無理のないお支払い方法などを提案し、一番良い方法を一緒に考えていきます

**A Q** 入院中、自宅で一人で暮らしている高齢の夫のことが心配です  
**A** 介護保険や民間サービスなどのご利用できるサービスを、当院の受診歴にかかわらずご説明させていただきます



医療法人 彰和会  
HGH 北海道消化器科病院

消化器内科、腫瘍内科、内科、消化器外科、外科、肛門外科、放射線科、麻酔科、病理診断科

- 設立：1988年2月20日
- 住所：札幌市東区本町1条1丁目2番10号
- 電話：011-784-1811 □ FAX：011-784-1838
- ホームページ：http://www.hgh.or.jp/
- 病床数：211床